

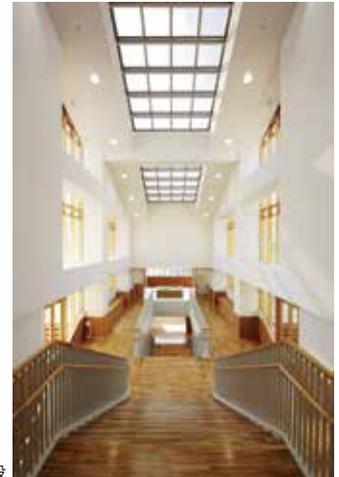
優秀賞

生活施設  
(中国地区)

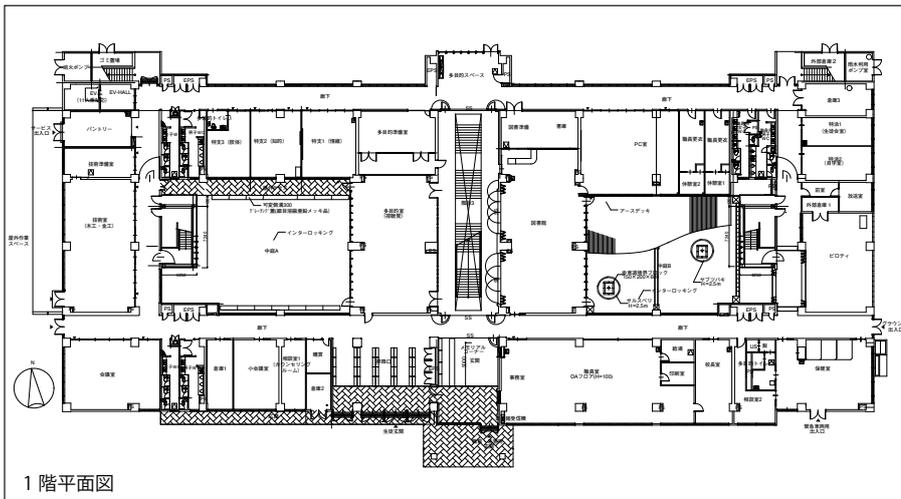
# 安来市立第一中学校



校舎外観



中央階段



1階平面図

所在地 島根県安来市飯島町 792

敷地面積 (m<sup>2</sup>) 26,525.83

建築面積 (m<sup>2</sup>) 3,967.40

延床面積 (m<sup>2</sup>) 7,914.05

構造/階数 RC造/地上3

事業者 安来市

設計者 (株) 梓設計 関西支社、  
田中正夫建築設計事務所

施工者 平井建設・渡部工務店特別JV

竣工年月 2013 (平成25) 年11月

総工事費 -

## 地域とともにすすめる 教育・共育の拠点として…

玄関を入ると目の前に1階から3階まで一直線に突き抜けた中央階段。天窓から降り注ぐ太陽の光を浴びながら生徒は各教室へ向かいます。全体的に光を多く取り入れ、明るく、そして開放的な構造となっている校舎。各階にある多目的のスペースは、休み時間、放課後等の生徒同士の大切な語らいの場、憩いの場となっています。美しい校舎が美しい心をもった生徒を育て、また同時に美しい心をもった生徒が美しい校舎をつくる…。最高の環境を与えてくださった地域の皆様方に感謝の気持ちをもち続け、家庭や地域との連携を大切に教育活動を行っています。

(村木隆夫・島根県安来市立第一中学校 校長)

本企画は学校の新築というだけでなく、この街区の道路整備とともに地域計画として交通の利便性、安全性、防災的な配慮という、建物単体だけではなくまちづくりとしての企画の公共性として実現している。

建築計画は、中央部に大きな吹き抜けの高い天井を持つ階段室がつくられ、そこには光が降り注ぐ内部空間として、また風が通り抜ける空間として、生徒が移動する空間としての流れが巧みに複合されている。

特筆すべきは、この空間の明るさによって、冬季に曇りの多いこの地域の自然の中で、明るい内部空間の学校として設計されている点である。風土的な条件を踏まえた優れた設計技術の駆使といえよう。また屋根は、地域特産の瓦屋根を用いてこの地域の新しい風土的建築として、一つの風景となるよう全体が計画されている点も優れた提案といえる。上層階に特別教室を巧みに配する断面計画によって、さまざまな天井高さの教室が実現され、独自性のある教育空間が形成されている。またコンクリートの仮枠や内部の仕上げに地元の木材が適切に使われることで、建築の中に地域性という文化的公共性を取り込むことにも丁寧な設計配慮がなされている。屋根の庇によって外壁のメンテナンスを抑えて、持続的に地域の建物として使えるような、公共的な視点としての設計提案もなされている。